

# 3軸ロボット型ダイナミックヘッドスペース(DHS)を用いたMulti-Volatile Method(MVM)とGC-MSによるコーヒー中香気成分の網羅分析

## キーワード

ダイナミックヘッドスペース(DHS)、FEDHS、MVM、GC-MS、コーヒー、香気成分、網羅分析

## はじめに

香気成分の分析においては、試料バイアル中の気相部分（ヘッドスペース/HS）に移行した揮発性成分をGC-MSに導入するHS-GC-MS法が広く普及しています。試料とHS間で揮発性成分の分配を平衡状態とした後、サンプリングを行うスタティックHS（SHS）は、非濃縮のため操作が簡単であり、古くから自動化した装置があります。また、試料、HS、ファイバー固定相間における分配をほぼ平衡状態としてサンプリングを行うHS-固相マイクロ抽出(SPME)も自動化した装置が普及しています。しかし、SHSは非濃縮であり、HS-SPMEは固定相の体積/表面積、及び選択性の制限により濃縮率が低いため、高感度な分析が難しい場合があります。一方、試料にパージガスを連続的に流して揮発性成分をHSに移行させながらサンプリングを行うダイナミックヘッドスペース（DHS）は、捕集管への濃縮率が高いため高感度な分析が期待できます。

詳細については、GERSTELバーチャル匂い分析ラボにユーザー登録の上、アプリケーションノート AN-J02/2020 をご覧ください。



MAKING LABS WORK

バーチャル匂い分析ラボ

